

皆様、こんにちは。

この4月から四条烏丸院の院長に着任しました

福永真未(ふくながまみ)と申します。



福井県出身(くみこ先生とは同じ高校の先輩後輩です)、分析好きでマイペースな乙女座・B型です。座右の銘は「日々是好日」、毎日好きなものに囲まれて、のほほんと暮らしています。好きなものは主人♡と愛猫トニー(アメリカンショートヘア、5歳♂)、コーヒー、寝ること、食べること、旅すること、肌触りの良いファブリック、**FEILER**のハンカチ(こんなにごちゃまぜでよいのだろうか...)等々。

いつ頃からか、あまりはっきりとは覚えていないのですが、物心つく前から医者さんになると言っていたようです。今でこそこんなに大きくなりましたが(色々な意味でw)学校に通うまでは体が弱く、入退院を繰り返していたそうで、身近で一番格好いい大人=医者さんだったのではないかと...(当時から単純でした、笑)

医師という職業の中でも、皮膚科医を選んだのは、目に見えて結果がわかるその「シンプルさ」に惹かれたからです。長年のコンプレックスも、寝られないほど辛いかゆみや痛みも、目に見えるものであれば、皮膚科医は本当にわずかな選択肢の組み合わせで、解決することができます。

私の師は、「皮膚科医なら患者さんを診て3秒以内に診断をしなさい」と教えてくれました。それゆえに皮膚科医の鍛錬方法はシンプルです。いかに沢山の患者さんと会い、話し、触れ、考え、それを自分にフィードバックするか、ただそれをひたすら繰り返すだけです。

しかし、玉石混合の情報があふれるこのご時世、それだけでは患者さんを治すことはできません。いかに患者さんにその考えを伝え、「理解・実践してもらえるか」が重要になります。おそらく診察室での私はやたらとお節介で、それはもうよく喋ることかと思えます。さっさと薬だけくれたらいいのに、と思う方がおられるやも知れませんが、けれども、残念ながらそれではきっと思うように改善いたしません(治したくない、というなら話は別ですが...)ので、何卒お付き合いください。その代わりに言うてはなんですが、毎日のスキンケアから、日々のお洋服や寝具の選び方、生活習慣や嗜好品に至るまで、ご質問いただければなんでもお答えいたします。皮膚科の病気は「死なないけれども治らない」はもう過去のお話です。

簡単な自己紹介と皮膚科のお話、というお話を頂いたのに勝手に「皮膚科医」の話をしてしまいました。どうぞご参考までに、ご笑納いただけますと幸いです。かしこ